

2022年7月21日(木)

大阪府知事  
吉村洋文 様

**カジノの是非は府民が決める 住民投票をもとめる会**

540-0012 大阪市中央区谷町2-3-1

ターネンビルNo2・2階

電話:06-6585-0258 Eメール:office@vosaka.net

[担当・事務局長] 山川義保 090-8536-3170

私たち「カジノの是非は府民が決める 住民投票をもとめる会(以下、「もとめる会」)」が取り組んだ署名は、各選挙管理委員会の審査を経て署名総数210,134筆を数えました。内、有効署名数は192,773筆(無効署名数17,361筆)となり、大阪府在住有権者数の1/50(146,509人・6月30日現在)を46,264筆上回り、本日、大阪府知事に対してカジノ住民投票条例案の直接請求を行いました。

さて吉村知事は、各市区町村選管に署名簿を提出した6月6日(月)、「府議会で論議し、誘致の結論を出している。住民投票をする必要はない」とし、また6月15日(水)の記者会見では「反対派の意見を聞く」との主旨を述べられています。

直接請求はおろか審査さえ終わっていない段階で、「住民投票は必要ない」と言い放つことに違和感を覚えた大阪府民は数知れません。

また「反対派の意見を聞く」とのことでしたので、「もとめる会」として吉村知事に直接面談を求めました。しかし大阪府は正式見解として「知事による直接面談はしない」と回答されています。「意見を聞く」といいながら、直接の面会の機会を設けないとの回答を残念に思います。

吉村知事は、大阪府民が45年ぶりに取り組んだ地方自治法に基づく「住民投票条例制定直接請求署名運動」の意義をどのように捉えておられるのでしょうか。

カジノの是非を問う住民投票直接請求の運動は、吉村知事が代表を務める大阪維新の会の重点政策であった大阪都構想住民投票とは明らかに異なります。大阪府72市区町村で集まった210,134筆の署名に込めた府民の意思を軽んじることは許されません。

区域整備計画についての大阪府議会での審議が不十分であり、可決されたことに納得いかない府民が多数存在するからこそ、住民投票をもとめているという事実を直視する必要があります。

吉村知事は大阪維新の会の代表である前に、私たち大阪府民の知事としての職責を誠実に果たすことが求められていると考えます。

私たちは、臨時議会が開会される前に知事との直接面談の機会を求めております。カジノ誘致計画に対する大阪府民の不安は、ギャンブル依存症問題に矮小化されるものではありません。

大阪府民が大阪夢洲へのカジノ誘致計画の問題点をどのように考えているのか、なぜ住民投票をもとめているのか、私たちから直接話を聞く機会を持っていただくことを切望いたします。

1. 吉村洋文大阪府知事が、臨時府議会の前に私たち「もとめる会」と直接の面談の機会を持っていただくことをとめます。

7月26日(火)までに文書で回答していただくことをお願いいたします。